

令和4年度 特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
足利市立北郷小学校	足利市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

本市全小学校において、平成15年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

必要となる教育課程の基準の特例については、「教育課程特例校編成の基本方針等について」を参照。

2. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- ・実施していない

(3) 自校における評価

職員のアンケート結果から

	大いに思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	あまり思わない
英語によるコミュニケーションの基本的な能力の育成につながっていると思いますか。	27%	59%	14%	0%
英語に慣れ親しむことにつながっていると思いますか。	45%	50%	5%	0%
外国語や外国の文化に対する興味・関心が高まっていると思いますか。	18%	64%	14%	4%

(4) 学校関係者による評価

<児童>

- 学校評価の児童アンケート「英会話学習や外国語活動・外国語の授業は、楽しいですか？」の質問に「楽しい」等肯定的な回答が9割以上だったことから、英会話学習を楽しんで学習している様子が覗えた。
- 学校評価の児童アンケート「先生や友達の英語を聞いて、だいたいの内容がわかりますか？」の質問に「分かる」「少し分かる」と回答した児童が9割を超えていたことから、学習している内容のだいたいを理解していることが分かった。
- 学校評価の児童アンケート「英会話学習や外国語活動・外国語を学習して、外国のことでもっと知りたいことがありますか？」の質問に「たくさんある」「少しある」と答えた児童が7割を超えていたことから、英会話学習等を通して、外国の言葉や生活習慣・食べ物等に児童が関心をもっていることが分かった。

<保護者>

- 学校評価の保護者アンケート「英語に慣れしたしんできていますか？」の質問に肯定的な回答が約8割だった。保護者も、児童が英語に慣れ親しんでいると感じている様子が覗えた。
- 学校評価の保護者アンケート「英語の学習を楽しんでいますか？」の質問に肯定的な回答は5割程度であった。
- 6年生の保護者からは、「中学入学前に英語に力を入れてほしい。」等の意見が数件あった。英会話学習への期待が大きいことが覗えた。

3. 実施の効果及び課題

【効果】

- 5. 6年生の英語チャレンジDAYは、とても意欲的に取り組む様子が見られた。チャレンジDAY後、教室内でも英語を積極的に使う姿が見られ、興味・関心の高まりが見られた。
- ALTの先生が大切なフレーズを繰り返し使用する場面を設けてくださることで、児童が自信をもって英語を使い友達やALT・EAAの先生と会話する姿が見られた。
- ALTやEAAの先生に親しみ、英会話学習を楽しんでいる様子が見られた。
- 校内で、ALTやEAAの先生方に進んで挨拶する様子が見られた。

【課題】

- 学年があがるにつれて、英会話学習や外国語活動が「楽しくない」と回答する児童が増え、英会話等に対する苦手意識をもつ児童が増えている。

4. 課題の改善のための取組の方向性

- 低、中学年では1時間の授業の中に、歌や表現活動を取り入れ、楽しく慣れ親しむことが

できる授業プランを考える。

- 大切なフレーズを繰り返し学習することで、自信をもって会話ができるような授業内容を今後も継続していく。
- タブレットを有効活用していく。
- 英会話学習や英語チャレンジ DAYの様子を保護者に発信し、児童が英会話学習や外国語活動・外国語の授業を楽しんで学習している様子を伝えていく。